

Network Video Recorder VK-64/VK-16/ VK-Lite

セットアップガイド

Ver. 2.0

はじめに

ネットワークビデオレコーダーVK-64 v2.0、VK-16 v2.0（以下、「VK-64/VK-16」）、またはVK-Lite v2.0（以下、「VK-Lite」）をご購入いただき、ありがとうございます。VK-64/VK-16およびVK-Liteは、ネットワークを介して録画とモニタリングを行えるソフトウェアで、録画サーバーとビューワーの2つから構成されます。

本ソフトウェアをご使用になってネットワークカメラ録画モニタリングシステムを運用される前に、本書をよくお読みください。本書をお読みになった後は、大切に保管しておいてください。

お客様へのお願い

- (1) 本書のすべての著作権は、キヤノン株式会社にあります。本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 本書の内容は、万全を期して作成しておりますが、お気付きの点がございましたら、裏表紙に記載の窓口までご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(2)、(3)項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

お客様へのお願い（免責事項）

本ソフトウェアの不具合などにより、録画できなかつたり、録画データが破壊または消失する場合があります。これにより生じるお客様の損害について、キヤノンは一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

サポート情報

サポートに関する各種の情報、更新された製品ソフトウェア（パッチインストーラー）や使用説明書、動作環境などは、ホームページをご確認ください。製品紹介ホームページ：canon.jp/webview

著作権について

お客様が撮影した映像や画像は、個人で利用するほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできませんのでご注意ください。

商標について

- CanonおよびCanonのロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。
- Microsoft WindowsおよびMicrosoft Internet Explorerは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- その他、本書に記載された商品名、社名等は、各社の商標または登録商標です。

MPEG-4のご利用について

この製品は、MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE に基づき、消費者による個人的且つ非商業的な、(i)MPEG-4 VISUAL STANDARD に準拠する動画（以下、“MPEG-4 ビデオ”といいます。）をエンコードするための使用、および／または (ii) 個人的且つ非商業的活動に従事する消費者によってエンコードされたMPEG-4 ビデオをデコードするための使用のためのライセンスをMPEG LA, LLC. から得ています。その他の使用のためのライセンスは、黙示的なライセンスを含め、許諾されていません。販売促進での使用、内部使用および商業的な使用、並びに追加ライセンス等に関連する追加情報については、MPEG LA, LLC. から得られることがありますので、[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) をご覧下さい。

“This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.”

第三者のソフトウェアについて

本製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。
各モジュールのライセンス条件につきましては、CDのLICENSEフォルダに含まれていますのでご参照ください。

対象ソフトウェア	関連ライセンス	ライセンス文
Apache	Apache Software License, Version 1.1	Apache
FastCGI	Open Market License	FastCGI
Expat	MIT License	Expat

目次

はじめに

本書の読み方	5
システム動作概要	6
VK-64/VK-16とVK-Liteの仕様比較	8
システム構成例	9
運用開始前のお願い<重要>	11

第 1 章 VK-64/VK-16導入にあたって

セットアップの流れ	14
-----------------	----

第 2 章 VK-Lite導入にあたって

VK-Liteシステムの導入例	18
Step1: 導入準備	19
Step2: カメラサーバーの設定・設置	19
Step3: インストール	20
Step4: 録画サーバーの設定	21
Step5: カメラサーバーの登録	23
Step6: 録画スケジュールの設定	26
Step7: ビューワーの設定	27
Step8: 運用管理とメンテナンス	29

本書の読み方

本書は、次の方を対象にしています。

- ・ VK-64/VK-16を導入して管理されるシステム管理者
- ・ VK Liteを導入して運用されるシステム管理者

本書は、最初に、ネットワークカメラモニタリングシステムを導入される前に知っておいていただきたい内容と、VK-64/VK-16とVK-Liteの違いについて説明しています。

「VK-64/VK-16導入にあたって」では、VK-64/VK-16の導入準備から運用管理までの流れを説明し、各ステップについて詳しく説明している『システム管理者マニュアル』の参照先をガイドします。

「VK-Lite導入にあたって」では、VK-Liteの基本的な導入準備と運用方法について説明します。

まずは、「VK-64/VK-16とVK-Liteの仕様比較」までをお読みください。

次に、運用されるソフトウェアに応じて「VK-64/VK-16導入にあたって」または「VK-Lite導入にあたって」をお読みください。

本書で使用しているマークについて

本書では、特にお読みいただきたい説明に、以下のマークを使用しています。



操作時の注意事項や制限事項を記載しています。注意してお読みください。



操作に役立つ補助説明や参考情報などを記載しています。



本書以外のマニュアルで詳しく説明している箇所を記載しています。必要に応じてお読みください。



VK-64/VK-16を導入する場合も、4台の簡単な導入事例として「VK-Lite導入にあたって」をお読みになることをお勧めします。

システム動作概要

VK-64/VK-16の概要

● ネットワークビデオレコーダー

ネットワークビデオレコーダーは、複数のネットワークカメラ（以下、カメラサーバー）の映像を表示したり、録画・録音、再生を行うためのソフトウェアです。Motion-JPEGとMPEG-4の映像表示・録画に対応し、音声双方向通信に加え、録音もできます。

● ネットワークビデオレコーダーの構成

録画サーバーとビューワの2つのソフトウェアから構成されます。

録画サーバーは、複数のカメラサーバーの映像を録画したり、動き検知や外部デバイス入力からのイベント情報を記録することができます。ビューワは、複数のカメラサーバーからの映像をライブ表示したり、録画サーバーに保存された録画映像を再生することができます。

● 製品の種類

製品名称	録画サーバー	ビューワ
ネットワークビデオレコーダー VK-64 v2.0	1 ライセンス	1 ライセンス
ネットワークビデオレコーダー VK-16 v2.0	1 ライセンス	1 ライセンス
ネットワークビデオレコーダー VK-64 v2.0 ビューワ	—	1 ライセンス
ネットワークビデオレコーダー VK-64 v2.0 5ビューワ	—	5 ライセンス

● ネットワークビデオレコーダー VK-64

ネットワークビデオレコーダー VK-64（以下VK-64）は、最大64台のカメラサーバーを登録して利用することができます。

● ネットワークビデオレコーダー VK-16

ネットワークビデオレコーダー VK-16（以下VK-16）は、VK-64と基本機能は同じですが、カメラサーバーの登録台数が最大16台です。

種類	録画サーバー	ビューワ
VK-64	カメラサーバー登録最大：64台	共通
VK-16	カメラサーバー登録最大：16台 その他の機能はすべてVK-64と同一	

● VK-64ビューワー（ビューワー単独の使用）

ビューワーを追加したい場合は、ビューワー・ライセンスを必要な分だけお買い求めください。
また、録画を必要としない場合にはビューワーを単独で 사용할 こともできます。最大64台のライブ映像表示やカメラ操作が可能です（録画・再生、動き検知や外部デバイス入力からのイベント情報の表示、スナップショットなどは利用できません）。

● 旧バージョンからのアップグレード

旧バージョン（v1.1、v1.2、v1.3、v1.4）からv2.0へのアップグレードは、ホームページから無償パッチインストーラーをダウンロードして行なってください。旧バージョンのライセンスキーは、v2.0でも使用できます。

● ネットワークビデオレコーダー VK-Lite

VB-C60製品に同梱されているネットワークビデオレコーダー VK-Lite(以下VK-Lite)は、VK-64/VK-16の簡易版です。最大4台のカメラサーバーの映像表示、録画・録音、再生ができます。VK-Liteのビューワーライセンスは、カメラサーバー1台につき1つ付与されています。カメラの台数以上にビューワーを使用する場合は、別途ビューワーライセンスを購入していただく必要があります（「VK-Lite追加ビューワーライセンス」）。

VK-64/VK-16とVK-Liteの仕様比較

VK-Liteは、VB-C60に同梱されているネットワークビデオレコーダーです。基本的にVK-64/VK-16と同じ機能を提供しますが、VK-64/VK-16の簡易版のため一部機能が制限されています。

分類	各種機能	VK-64/VK-16	VK-Lite
カメラサーバー接続	最大カメラサーバー接続台数	64台/16台	4台
	登録できるカメラサーバー	VB-C60、VB-C300 VB-C50シリーズ VB-C10/R、VB-150	VB-C60、VB-C300 VB-C50シリーズ
	カメラサーバーの自動検索	○	○
録画サーバー	録画	JPEG、MPEG-4	JPEGのみ
	最大録画フレームレート	30fps*1	5fps
	録画モード	週間スケジュール録画 (常時録画、センサー録画 動き検知録画) 特定スケジュール録画 手動録画	週間スケジュール録画 (常時録画) 手動録画
	最大ファイルサイズ設定	設定可能 32~1024MB、1~24時間	固定 1日1GB (1024MB)
	最大保存期間	999週間*1	12週間 (90日間)
	音声録音/再生	○	○
	NASサーバーへの録画	○	—
	その他制限事項	—	以下の機能は使用できません ・ イベント発生時のメール送信 ・ イベント優先度のカスタマイズ ・ HTTPプロキシ経由の接続
ビューワー	ライブ映像対応	JPEG、MPEG-4	JPEG、MPEG-4
	最大表示フレームレート	30fps*1	30fps*1
	表示可能な映像ウィンドウ数	制限なし*1	8個以下を推奨
	音声送受信	○	○
	複数録画サーバーの登録*2	○	—
	オートスイッチ機能*3	○	—
	その他制限事項	—	以下の機能は使用できません ・ HTTPプロキシ経由の接続

*1 カメラサーバーの台数、PC性能やハードディスク容量、ネットワークの負荷状況などにより、運用できる上限があります。

*2 複数の録画サーバーで運用する場合、マスター録画サーバーを1台決めるとビューワーから一元的に各録画サーバーに登録されたカメラや録画データなどを管理することができます。VK-Liteではビューワーから録画サーバーに接続する場合は、1台ずつ切り換えてご使用ください。

*3 ビューワー画面を一定時間毎に切り替えて表示する機能です。

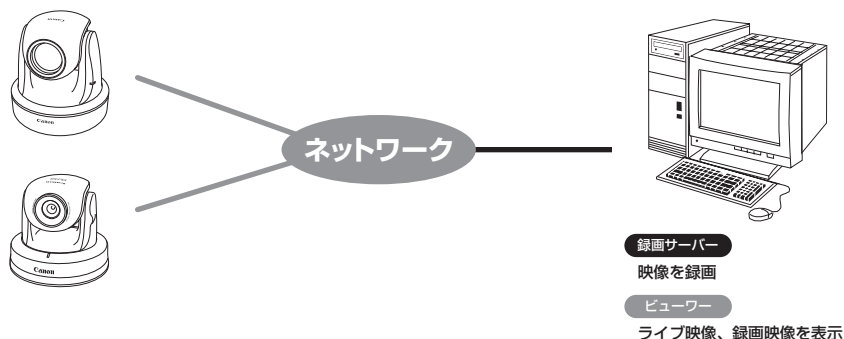
システム構成例

録画サーバーとビューワーは、PC 1台とカメラ1台のシンプルな構成から、複数のPCとカメラサーバーを使用した構成まで、多様な構成に対応します。

Case 1

1台のPCで表示と録画を行う場合

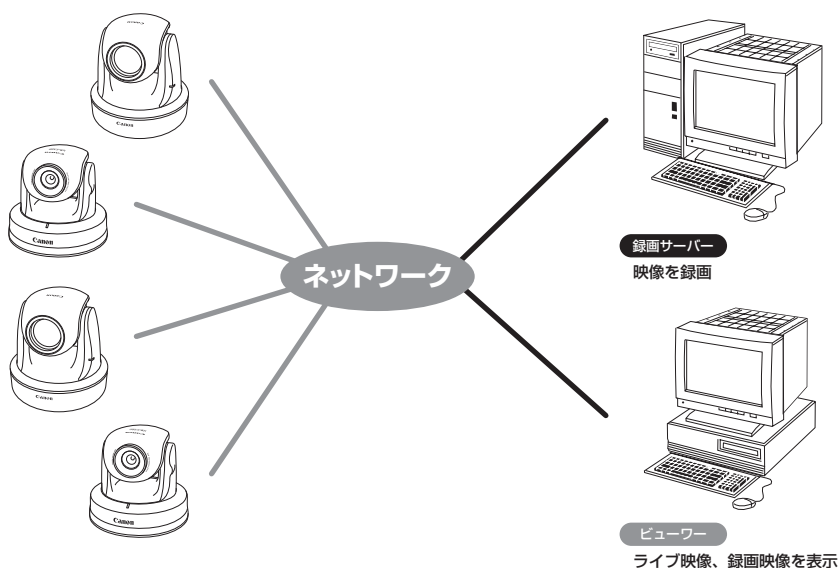
1台のPCが、録画サーバーとビューワーを兼ねます。



Case 2

1台の録画サーバーで録画し、1台のビューワーで表示する場合

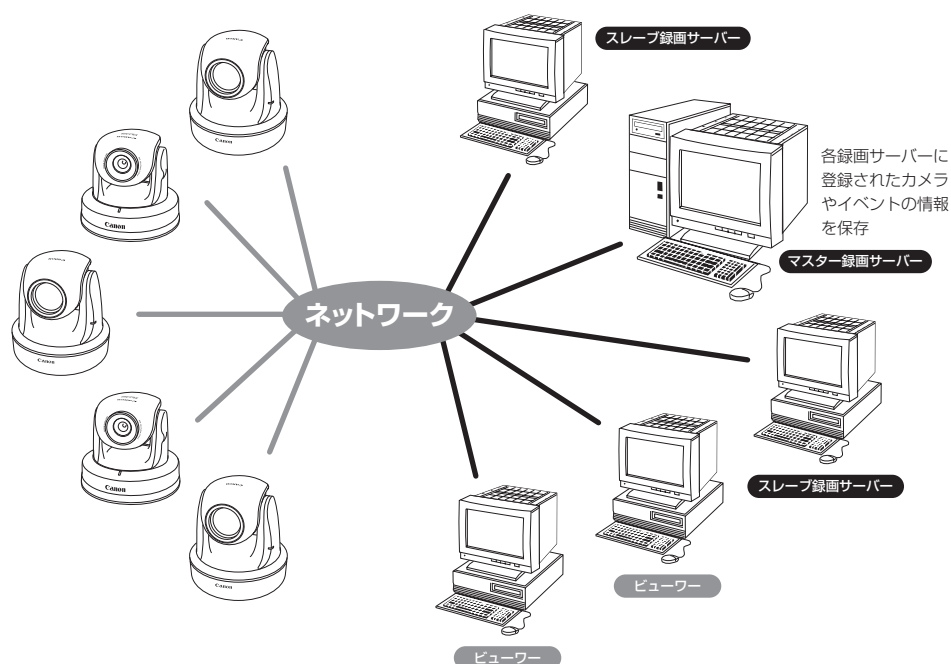
1台のPCを録画サーバーとし、別のPCをビューワーにします。
カメラサーバーの台数が多い場合は、こちらの運用を推奨します。



Case
3

複数の録画サーバーと複数のビューワーを使用する場合

1つのネットワーク上で、最大10台の録画サーバーを使用できます。複数の録画サーバーで構成する場合は、1台をマスター録画サーバーにし、残りをスレーブ録画サーバーにします。マスター録画サーバーは、ビューワーが最初に接続する録画サーバーで、各録画サーバーに登録されたカメラやイベントの情報が保存されます。ビューワーの台数に制限はありませんが、1台のサーバーに最大10クライアントまで接続できます。カメラサーバーは最大192台まで運用できます。録画サーバーは、VK-64とVK-16、VK-Liteを組み合わせ運用することもできます。



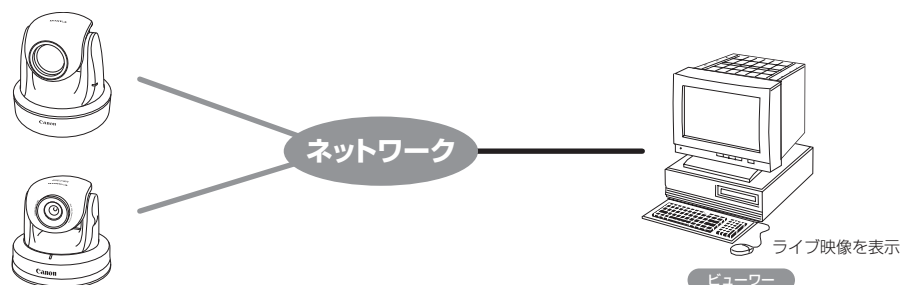
お願い

VK-Liteではマスター録画サーバー機能は利用できません。複数の録画サーバーを運用する場合は、ビューワーから1台ずつ接続を切り換えて使用してください。

Case
4

ビューワー単独で使用する場合

ビューワー単独でも使用することができます。



運用開始前のお願い〈重要〉

運用を開始する前に、必ず実際の環境下で運用テストを行ってください。

運用にあたっては、以下の事項についてご了承ください。

- ネットワーク環境やPCの性能によっては、設定した通りの録画やライブ映像の表示が行えない場合があります。
- ご使用のPCのCPU負荷やディスク負荷が高くなると、指定した通りのフレームレートが出なかったり、録画が一時停止したり、ビューワーの操作に時間がかかることがあります。また、ディスクの空き容量が少なくなると、録画した映像ファイルが削除されるため、ディスクの負荷が高くなり、録画を一時停止することがあります。
- ウイルス対策ソフトやファイアウォールソフトなどをご使用の場合は、録画サーバーやビューワーの動作、性能に影響が出る場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合は、設定した通りの録画フレームレートで録画できなかったり、ライブ映像の表示が切断されることがあります。また、録画サーバーとビューワー間の通信が切断されることもあります。なお、この場合録音はできません。



参照

『システム管理者マニュアル』のプロキシサーバーについて (P.55、P.77)

- Windows OSのバージョンごとに注意事項がありますので、下記参照ページをご確認ください。



参照

『システム管理者マニュアル』の「動作環境のご注意」(P.24～P.27)

- NASサーバーをご使用になる場合は、以下の事項にご留意ください。
 - ・ NASサーバーには、Windows Storage Server 2003またはWindows Storage Server 2003 R2を搭載した推奨機種をご使用ください。
 - ・ NASサーバーへ録画する場合は、カメラサーバーとの通信用のネットワークとNASとの通信用のネットワークを分離することをお勧めします。

● 音声機能の注意

VB-C60、VB-C300、VB-C50i、VB-C50iR、VB-C50FSiでは音声機能を使用できます。

- ・ VKビューワーで、音声を送受信できます。
- ・ 音声の録音もできます。ただし、音声だけを録音することはできません。必ず映像とセットで録画・録音されます。
- ・ 映像と音声は、ずれることがあります。
- ・ ご使用のPCの性能やネットワーク環境によっては、音声途切れることがあります。
- ・ ウイルス対策ソフトをご使用の場合は、音声途切れることがあります。
- ・ プロキシサーバーを経由する場合は、音声機能は使用できません。

第1章

VK-64/VK-16導入にあたって

セットアップの流れ

セットアップの流れ

導入前の準備～運用管理とメンテナンスまでの流れを説明します。
各ステップの説明は『システム管理者マニュアル』を参照してください。

Step
1

導入準備

「システム設計の考え方」

導入前に、映像の保存期間や録画条件を検討し、録画サーバーに必要なハードディスク容量の確認を行い、機材の準備をしてください。

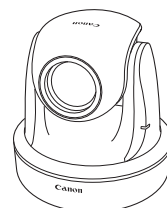


Step
2

カメラサーバーの設定・設置

カメラサーバーに付属の「使用説明書」

カメラサーバーのセットアップをします。接続に関する詳細は、カメラサーバーに付属の使用説明書を参照してください。

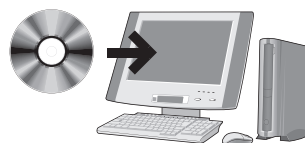


Step
3

インストール

「第2章 インストール」

VK-64/VK-16の録画サーバーおよびビューワーを録画サーバー用PC、ビューワー用PCにインストールします。



Step
4

録画サーバーの設定

「第3章 録画サーバー 設定リファレンス」

録画サーバーの設定をします。最大保存期間、最大ファイルサイズなど録画に関する設定や、ユーザーへのイベント通知、ユーザー権限に関する設定などが行えます。

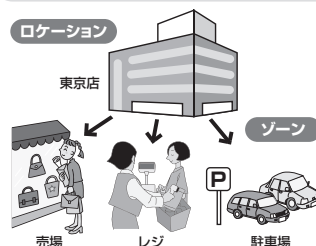


Step
5

カメラサーバーの登録

カメラサーバーの登録を行うには、まず登録するカメラの分類がしやすいように、ロケーションとゾーンの設定をします。企業や多店舗展開している小売店で例えると、支店や各店舗がロケーションにあたります。そして、各店舗の入り口やレジ回り、駐車場などの小分類がゾーンにあたります。ロケーションとゾーンの設定が終わったら、カメラサーバーの登録を行います。

「第4章 カメラサーバー登録と録画スケジュール設定」



Step
6

録画スケジュールの設定

常時録画、動き検知録画、センサー録画など、カメラサーバーごとに録画スケジュールを設定できます。録画スケジュールは、週刊スケジュールと特定日のスケジュールで分かれているため、自由度の高い設定ができます。

「第4章 カメラサーバー登録と録画スケジュール設定」



Step
7

ビューワの設定

映像表示する画面のレイアウト設計と登録を行うことで、独自の監視画面を作ることができます。複数のレイアウトを登録し、特定の時間間隔で切り替えることができるため、大規模な監視も可能です。また、表示フレームレートの上限や自動調節設定をしたり、イベントの優先度ごとにオペレータに通知したり、警告音を発生したりすることができます。

「第5章 ビューワーリファレンス」



Step
8

運用管理とメンテナンス

運用開始後に予期せぬトラブルでネットワークに障害が発生した場合、監視システムの運用に影響を及ぼす可能性があります。そのような事態を避けるため、録画映像や設定データを定期的にバックアップするなど運用管理とメンテナンスを行うようお勧めします。

「第6章 運用管理」、「第7章 バックアップ運用」、
「第8章 システムメンテナンス」



第2章

VK-Lite導入にあたって

VK-Liteシステムの導入例

VK-Liteシステムの導入例

この章では、以下の録画条件とシステム構成でVK-Liteの監視システムを構築する場合を例に、導入から運用を開始するまでの手順を紹介します。

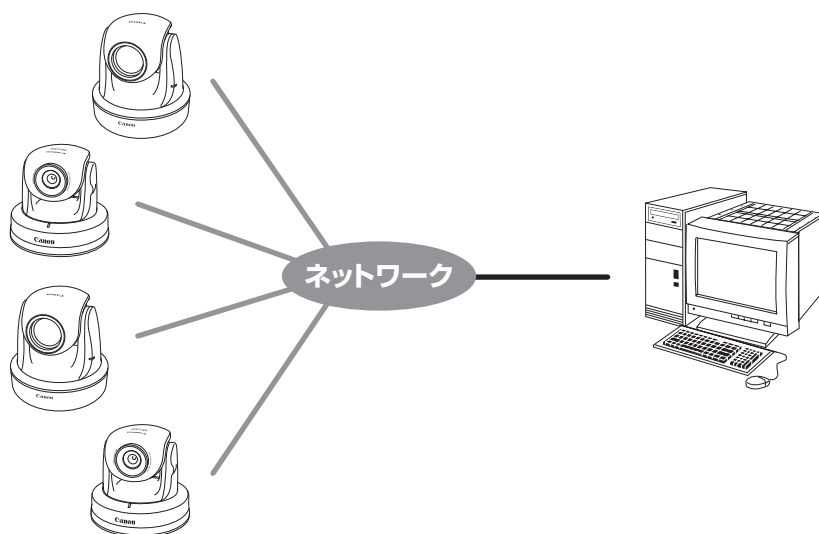
● 録画条件

カメラサーバーの台数	4台
録画映像サイズ	VGA (640×480)
映像品質	標準 (映像データサイズ：約50KB* ¹)
録画フレームレート	1fps
映像の保存期間	14日間

※1 カメラによって異なる場合があります。

● システム構成例

1台のPCで録画サーバーとビューワーを兼用し、4台のカメラサーバーを接続して運用する構成とします。



お願い

この導入例では、ネットワークカメラの設定や関連機器の設置、設定、配線の敷設が完了していることを前提に説明しています。

Step1：導入準備

安定したシステムを運用できるように、まず、録画サーバーに必要なハードディスク容量を、録画条件から算出します。

必要なハードディスク容量は、以下の計算式で算出します。

必要なハードディスク容量

$$\begin{aligned} &= \text{カメラ台数} \times \text{映像データサイズ} \times \text{録画フレームレート} \times \text{映像保存期間(秒)} \\ &= 4 \times 50 \times 1 \times (60 \times 60 \times 24 \times 14) \\ &\div 291000000 \text{ B} \\ &\div 300 \text{ GB} \end{aligned}$$

よって、300GB以上のハードディスク容量が必要になります。ただしこの数値には、システム領域に必要な容量は含まれません。



録画データの保存用には、外付けのハードディスクは使用しないでください。正しく録画できなかったり、データが破損することがあります。



『システム管理者マニュアル』の「システム設計の考え方」(P.28)

Step2：カメラサーバーの設定・設置

カメラサーバーのIPアドレスの設定など、カメラサーバーの初期設定を行います。

カメラサーバーの初期設定については、『スタートガイド』をご覧ください。



プリセット、プリセット巡回をご使用になる場合は、事前にカメラサーバーの設定を済ませておくと、効率的にシステムを構築できます。



カメラの初期設定：『スタートガイド』
プリセットの設定：『操作ガイド』の「プリセット設定ツール」(P.2-18)

Step3 : インストール

ネットワークカメラに同梱されているCD-ROMで、録画サーバーPCにVK-Lite録画サーバー、ビューワーPCにVK-Liteビューワーをインストールします。

ここでは、1台のPCにVK-Lite録画サーバーとVK-Liteビューワーをインストールします。

● インストールを始める前に

インストール先のドライブと録画映像を保存するドライブは、NTFSでフォーマットされている必要があります。

● インストールする

1 VB-C60セットアップCD-ROMの"VBTools"フォルダの"VKLiteInstall.exe"をダブルクリックすると、インストールが開始されます。

2 [次へ]ボタンをクリックします。

「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されますので、説明をよく読んで、[使用許諾の条項に同意します]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。



ヒント

VK-Liteではライセンスキー入力画面は表示されません。

3 以下のアプリケーションの両方が表示されます。

- ビューワー
- 録画サーバー

一方のみインストールしたい場合は、インストールしない側のアプリケーションを右クリックして「この機能を使用できないようにします。」を選択してください。

4 [次へ]ボタンをクリックします。

インストールを開始する画面が表示されます。



ヒント

- インストール先ディレクトリは、変更しないことをお勧めします。
- [変更...]をクリックすると、インストール先ディレクトリを変更できます。

5 [インストール]ボタンをクリックします。

インストール処理が進められ、進捗状況表示バーが表示されます。

インストールが完了すると、「InstallShieldの完了」画面が表示されます。

6

[完了]ボタンをクリックします。

以上で、インストールは完了です。



ヒント

複数のPCでシステムを運用する場合は、PCごとにインストールしてください。



参照

『システム管理者マニュアル』の「第2章 インストール」

Step4：録画サーバーの設定

「VK-Lite録画サーバー設定」を起動して、録画サーバーの設定を行います。

ここでは、最大保存期間、ディスク空き容量低下の通知設定、最大ディスク使用量、ユーザー設定などの基本的な設定を行います。録画スケジュールの設定については、「Step6：録画スケジュール設定」で説明します。



1

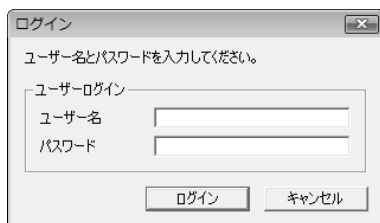
デスクトップのアイコン[VK-Lite録画サーバー設定v2.0]をダブルクリックします。

「ログイン」タイアログが表示されます。

2

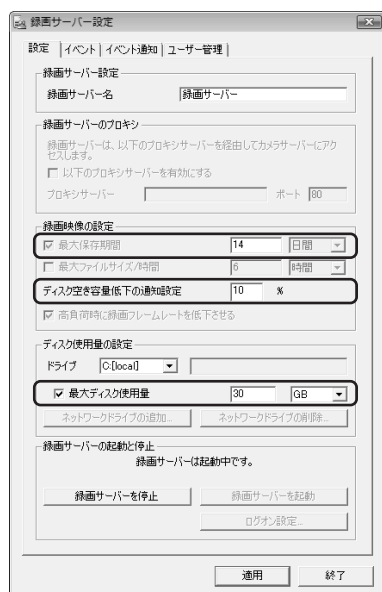
ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

「録画サーバー設定」ダイアログが表示されます。



ヒント

- 録画サーバーを設定するには、Windowsの管理者（Administrator）権限を持ったユーザーでWindowsにログインする必要があります。
- インストール後は、管理者権限を持った以下のVK-Liteのユーザーが作成されています。
 - ユーザー名 admin
 - パスワード NVR
- Windows Vistaでユーザーアカウント制御が有効になっている場合は、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。この場合は、[許可]をクリックします。



3

基本的な録画サーバーの設定を行います。

ここでは、「VK-Liteシステムの導入例」に示した条件と「Step1:導入準備」で算出したハードディスク容量を用います。実際には、運用に合わせて算出された数値を設定してください。

- ・最大保存期間を14日間にします。
- ・ディスク空き容量低下の通知設定は、デフォルト値10%を用います（10%以上を推奨）。
- ・最大ディスク容量を300GBにします。



4

複数のユーザーが使用する場合は、[ユーザー管理] タブをクリックし、ユーザーを追加します。

- ・ユーザーを追加するには、[追加] ボタンをクリックし、ユーザー名とパスワードを設定します。
- ・ユーザーに管理者の権限を与える場合は、[管理者] チェックボックスをチェックします。



お願い

インストール後に作成されているユーザー名「admin」とパスワードは、変更して運用されることを強くお勧めします。



管理者以外のユーザーは、以下の操作は行えません。

- ・カメラサーバーの設定、登録、変更
- ・録画スケジュールの設定、変更

5 [適用] ボタンをクリックします。

変更内容が保存されます。



『システム管理者マニュアル』の「第3章 録画サーバー 設定リファレンス」

Step5 : カメラサーバーの登録

VK-Liteビューワーを起動して、カメラサーバーの登録を行います。

初めてVK-Liteビューワーを起動したときは、ビューワー画面にはカメラ映像は表示されません。ビューワー画面にカメラ映像を表示するには、カメラサーバーを登録した後で、ビューワーの映像表示エリアに映像ウィンドウを配置します。



1 デスクトップのアイコン[VK-Liteビューワー v2.0]をダブルクリックします。

録画サーバーの接続メニュー（起動画面）が表示されます。



2 「マスター録画サーバー」で[localhost]を選択し、[接続]ボタンをクリックします。

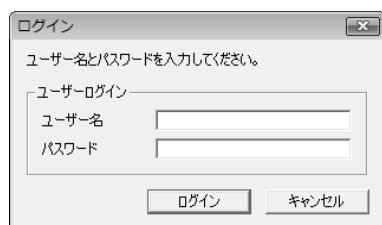
「ログイン」タイアログが表示されます。



この例では、1台のPCに録画サーバーとビューワーをインストールして運用しているため、[localhost]を選択します。

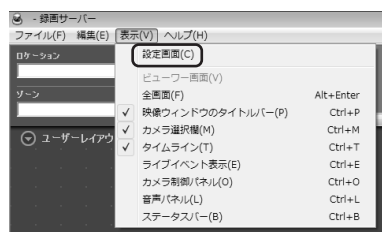
マスター録画サーバーは、実際の運用方法に合わせて、以下の内容を選択してください。

運用方法	選択する内容
録画サーバーとビューワーを同じPCで運用	localhost
録画サーバーとビューワーを別のPCで運用	IPアドレスで指定する
録画はしないでライブ映像だけを表示	録画サーバーを使用しない



3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

ビューワー画面が表示されます。



4 メニューバーから[表示]→[設定画面]を選択します。
「各種設定」画面が表示されます。



5 [ロケーション/ゾーン]タブをクリックし、ロケーションとゾーンを作成します。



- ロケーションには「オフィスビル」「店舗」など、複数の拠点がある場合の各監視現場名を設定します。
- ゾーンには「エントランス」「エレベーターホール」「店内」「ストックルーム」「駐車場」など、各ロケーション内の特定の場所を設定します。
- 小規模店舗の場合のロケーションとゾーンの作成例を以下に示します（1拠点を想定し、ロケーションは1つとします）。

ロケーション	VB商店
ゾーン1	店舗内
ゾーン2	ストックルーム
ゾーン3	駐車場

6 [カメラサーバー検索]をクリックします。

「検索結果」ダイアログに、登録可能なカメラサーバーが表示されます。



7

登録するカメラサーバーを選択し、[カメラサーバー追加]ボタンをクリックします。

「カメラサーバー追加」ダイアログが表示されます。



8

「カメラサーバー追加」ダイアログで、以下の操作を行います。

- ・「ユーザー名」と「パスワード」を入力して[接続]ボタンをクリックし、「プレビュー」画面にカメラ映像が表示されることを確認します。
- ・「カメラ名」を入力し、カメラの「ロケーション」と「ゾーン」を選択します。
- ・[コントロール開始]ボタンをクリックし、カメラの画角を設定します。

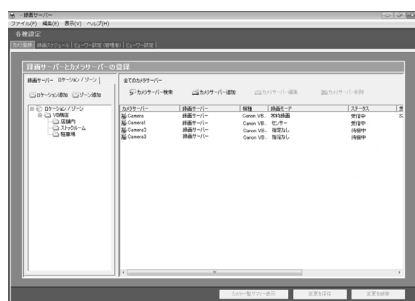
9

[OK]ボタンをクリックします。

カメラサーバーが登録され、登録したカメラサーバー情報が画面の右側のリストに表示されます。

10

複数のカメラサーバーを使用する場合は、手順6～9を繰り返して他のカメラサーバーも登録します。



11

画面上の右側のリストで、使用するカメラサーバーのすべてを登録できたことを確認します。

12

[変更を保存]ボタンをクリックします。

登録したカメラの情報が保存されます。



『システム管理者マニュアル』の「第4章 カメラサーバー登録と録画スケジュール設定」

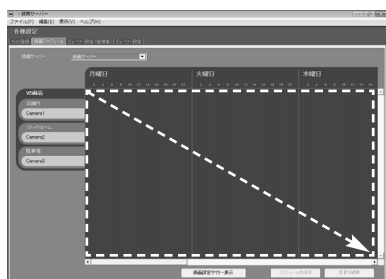
Step6 : 録画スケジュールの設定

カメラサーバーの登録が終了した後、録画スケジュールの設定を行います。

録画スケジュールの設定は、「各種設定」画面の[録画スケジュール]タブで行います。

ここでは、月曜日から日曜日までの終日、1fpsで常時録画する週間スケジュールの設定例を紹介します。

1 「各種設定」画面の[録画スケジュール]タブをクリックします。



2 すべてのカメラサーバーのスケジュールエリアを、マウスでドラッグして選択します。

「録画スケジュール追加」ダイアログが表示されます。

表示されない場合は[カメラサーバー編集]ダイアログの[録画サーバー設定]で「録画サーバー」を選択してください。



3 以下の操作を行います。

- ・ [終日] ボタンをクリックします。
- ・ 月～日のチェックボックスをチェックします。
- ・ 録画モードのフレームレートのリストから「1fps」を選択します。

4 [OK] ボタンをクリックします。

設定したスケジュールが表示されます。



5

設定した内容に間違いがなければ、[スケジュールを保存]ボタンをクリックします。

設定したスケジュールが保存されます。



VK-Liteで設定できるのは「週間スケジュール」のみです。「特定スケジュール」は設定できません。



『システム管理者マニュアル』の「第4章 カメラサーバー登録と録画スケジュール設定」

Step7 : ビューワーの設定

ここでは、ビューワーの基本設定を行い、続けてレイアウトの作成と映像の表示を行います。

● ビューワーの基本設定

最大フレームレート、音声、スナップショットなど、ビューワーに関する基本設定を行います。ここでは、ライブ映像の最大フレームレートの設定を確認し、設定値は変更しません。



1

「各種設定」画面の[ビューワー設定]タブをクリックします。

最大フレームレートのデフォルト値は、「5fps」です。以下のフレームレートを選択できます。

0.1、0.2、0.5、1、2、5、10、15、20、25、30

● レイアウトの作成と映像の表示

システムを設定する最後のステップとして、レイアウトの作成を行います。
ここでは、以下の設定を行います。

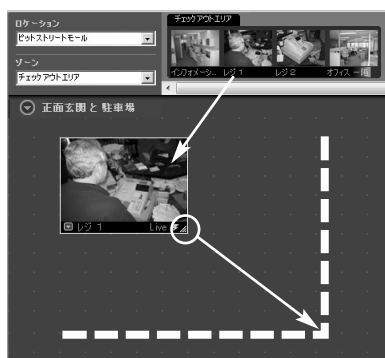
● 映像の配置にグリッドを使用する

1 メニューバーから[表示]→[ビューワー画面]を選択します。

ビューワーが表示されます。ビューワー上部のカメラ選択欄には、「Step5：カメラサーバーの登録」で登録したカメラ映像のサムネイルが表示されます。



2 映像表示エリアで右クリックし、[配置オプション]→[グリッドを使用する]を選択します。



3 カメラ選択欄でサムネイル画像をクリックし、映像表示エリアのグリッドの上にドラッグします。

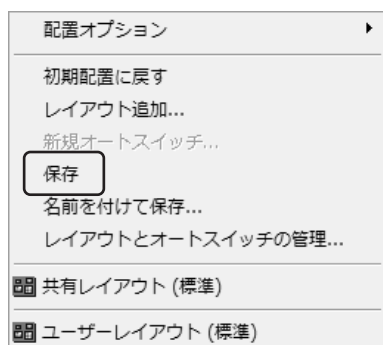
4 表示させたい位置に移動してください。マウスを放すと、配置枠に合わせてサイズと位置が調節されます。



映像ウィンドウのサイズを変更するには、いずれかの隅をドラッグしてサイズを変更してください。マウスを放すと、配置枠に合わせてサイズが調節されます。

5 必要に応じて、他のカメラサーバーのサムネイル画像を映像表示エリア上にドラッグし、サイズ調整してください。レイアウトの一例を右に示します。





- 6 映像表示エリアで右クリックし、[保存]を選択します。

以上で、設定は終了です。



ヒント

- ここでは、デフォルトで表示される「共有レイアウト (標準)」を使用しています。レイアウトは新規に作成し、自由に名称を付けて保存できます。
- カメラサーバー側で設定した配信映像サイズによっては、ライブ映像の画質が悪くなり、見にくく感じる場合があります。この場合は、カメラサーバーの配信映像サイズを変更するか、映像ウィンドウのメニューから[映像受信サイズ]をお好みの大きさに変更することで改善される場合があります。



参照

『システム管理者マニュアル』の「第5章 ビューワーリファレンス」

Step8 : 運用管理とメンテナンス

運用管理（録画データや設定のバックアップなど）とシステムメンテナンスは、運用開始後も定期的に実施されることをお勧めします。

この章では、ネットワークカメラ録画モニタリングシステムの導入について、VK-Liteの一部の機能の基本的な操作と設定例を紹介しました。より詳しい情報については、同梱のCD-ROMに収録されている『システム管理者マニュアル』をご参照ください。



参照

『システム管理者マニュアル』の「第6章 運用管理」、「第7章 バックアップ運用」、「第8章 システムメンテナンス」

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、お客様相談センターをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター

ネットワークカメラ／モニタリング機器

050-555-90074

【受付時間】

<平日> 9:00～17:00（但し、12:00～13:00除く）

（土・日、祝日及び年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9622をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON **S**TOWER